

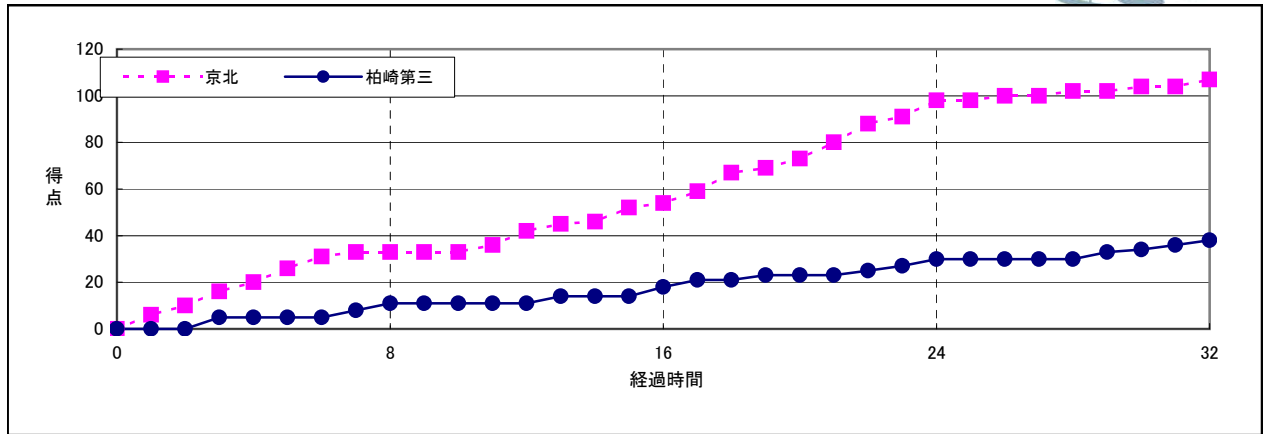
【game report】

No. 2 - HA - 4

平成20年度全国中学校体育大会
第38回全国中学校バスケットボール大会



試合区分	2日目 男子 HAコート第4試合 決勝トーナメント1回戦		
日時	8月24日(日)	13:30 ~	
会場	東総合スポーツセンター		
結果	京北 東京 107 ○	33 1st 11 21 2nd 7 44 3rd 12 9 4th 8 OT	柏崎第三 新潟 ●
審判	主審 津田 博夫	副審 河井 眞代	



【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手 空欄=出場なし

京北							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3 P	2 P	FT	反則
4	田 渡 凌	×	45	2	18	3	3
5	池田慶次郎	×	15	2	4	1	1
6	菅野 遥亮	/	5	0	2	1	0
7	佐々木祥太	/	0	0	0	0	0
8	馬場 凱士	/	0	0	0	0	0
9	加 山 聖	/	0	0	0	0	1
10	河内悠一郎	/	2	0	1	0	0
11	高 橋 涼	/	0	0	0	0	1
12	西山 誠也	/	0	0	0	0	1
13	岡田大貴	/	0	0	0	0	0
14	伊藤 達哉	×	13	3	2	0	1
15	三上 健人	×	14	0	6	2	0
16	木 林 毅	×	4	0	2	0	4
17	石 原 卓	/	1	0	0	1	0
18	新川 敬大	/	8	0	3	2	1
監	田代直人	/	/	/	/	/	/
C	田渡敏信	/	/	/	/	/	/
合計			107	7	38	10	13

柏崎第三							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3 P	2 P	FT	反則
4	笹川 錬也	×	6	1	1	1	4
5	野口直弘	/	2	0	1	0	1
6	萩原賢人	×	10	1	3	1	2
7	戸澤亮介	/	1	0	0	1	1
8	戸澤俊介	×	0	0	0	0	0
9	大塚洋樹	/	0	0	0	0	0
10	岸本聖和	/	0	0	0	0	1
11	川 西 涼	/	1	0	0	1	1
12	中野 岳	/	4	0	2	0	2
13	今井 惇司	×	14	1	5	1	0
14	浅賀 祥馬	/	/	/	/	/	/
15	柘堀 一政	/	/	/	/	/	/
16	中村 一仁	×	0	0	0	0	1
17	武井 一生	/	/	/	/	/	/
18	平野 翔也	/	/	/	/	/	/
監	長谷川信之	/	/	/	/	/	/
C	今井直樹	/	/	/	/	/	/
合計			38	3	12	5	13

3 P = 3ポイントシュート 2 P = 2ポイントシュート FT = フリースロー

予選Bリーグ1位京北と予選Aリーグ2位柏崎第三との対戦。京北に、開催地代表柏崎第三が挑む大一番となった。トスアップ後、京北のスピードあるOffとそれに勝る激しいDefにペースを乱された柏崎第三は、持ち味であるスピードと1対1による攻撃のリズムが作れない。一方、京北はリバウンドからスピードとキレのある正確なシュートで、京北の持ち味である粘り強いDefから速い攻撃の展開となる。残り3分から柏崎第三もルーズボール、リバウンドから速い攻撃によりシュートを決めるが、スタート開始5分のリズムが3-3-1となり、その差が悔やまれる1Qとなった。

第2Qスタート直後から、両チームともに激しい攻防となるが、開始2分30秒間、両チーム共に得点が止まる。その後、京北#14の3Pを皮切りに、京北は徐々に得点を上げていく。柏崎第三はDefリバウンド、ルーズボールから本来の持ち味である速い展開を試みるが、シュートが決まらず54-18で前半が終了。

第3Qスタート開始、両チーム共に速い攻撃から目の覚めるアウトシュートが決まる。しかし、京北#14が連続3Pを2本決めると#5も3Pを決め、その後も正確なシュートはネットに吸い込まれるかのように得点として加算される。京北の粘り強いDefが後半になるとじわじわと効き、その得点差が大きく開くが柏崎第三の選手は誰一人と試合をあきらめず、必死になって得点を入れようと攻め続ける。既に得点は98-30というハイスコアとなる。

第4Q、得点差は開いたが、両チーム最後まで諦めない攻防戦で、107-38で京北が勝利を収めた。柏崎第三は初出場ですべて予選リーグを抜け、決勝リーグ進出を果たした。京北の壁は大きかったが、最後まで諦めず必死になってボールを追いつける姿に会場から温かい声援が送られた。

記録者：五十嵐 匠